

特集・小説で読む「働く」ということ

第5回 【いろいろなお仕事】

小説には、いろいろなジャンルがあります。時代小説、サスペンス、恋愛小説、SF…その中で、様々な生業を描いた作品、お仕事小説もそのひとつです。今回は、当労働情報コーナーで最近購入した作品をお届けいたします。また、仕事の形態がどのように変化するかを描いた作品も加えました。ぜひ、ご一読ください。



[書籍の紹介]

★きみの正義は__ 一社労士のヒナコー 水生 大海 文藝春秋 2019 080/583

派遣社員から一念発起し、社労士の資格を取った朝倉雛子。小さな社労士事務所の一員になるが、舞い込んでくる案件は難しいものばかり。表題の作品のほか、春の渦潮、わたしのための本を、藪の中を探れ、らせん階段を上への4点、『オール讀物』掲載と書下ろし作品を収録します。読んでいるうちに、いつの間にか労働問題にも詳しくなれるお仕事小説です。

★未来職安 柞刈 湯葉 双葉社 2018 080/582

近未来の朝、起きて洗顔からメイクまで、機械の前に座りオートで支度をする。朝食を済ませ、街に出て通り過ぎる車に対して、乗車待ちのポーズをして道端で立つ。サインを認識した車両が止まり、そして職安の場所をいうとパネルに目的地と料金が表示され、カードで決済する。そして職安へ…オンライン職業訓練校など、コロナ禍以前に構想した社会での人とのやり取りを描いた表題の作品と未来公務員、未来家族、未来作家、未来医療、未来雇用の6作品を収録します。未来になっても、職安という仕事と人をつなぐ機関の存在はなくならないと語ります。双葉社 Web 文芸マガジン「カラフル」掲載をまとめます。

★下町ロケット ヤタガラス 池井戸 潤 小学館 2018 080/580/2

佃製作所の番頭、殿村は、自己都合で退職し、帝国重工のよき理解者であった財前も異動するが、佃製作所のエンジニアは、新しい農業用のトランスミッションを開発し、その機器を積んで、帝国重工の準天頂衛星「ヤタガラス」の電波を使い新しい農業用トラクターの開発を進めた。しかし、ライバル会社であり重要な取引会社のギアゴーストが重大な方針転換をして、帝国重工にも触手を伸ばしてきた。実家の危機で農業を継いだ殿村をも巻き込んだ、町工場と巨大企業の争いは…。大きな挫折を経験した者たちの熱き思いとプライドが激突しています。



★ハラスメントゲーム 井上 由美子 河出書房新社 2018 080/584

主人公・秋津渉、今は地方のスーパーで支店長を務めているが、かつては、東京本社の中核である店舗開発に所属し、業界でも名が通っていた。あることがきっかけで、7年前に本社を出され左遷の身となり、本社のコンプライアンス室室長を命じられた。彼を待っていたのは、自社開発のヒット商品であるクリームパンへの1円玉混入事件だった。情報を集めていくうちに、その事件の陰にあったパワハラに行き着くことになる。秋津を呼び戻した真の理由とは…。社内でのハラスメントに対する対応を描く。

★農ガール、農ライフ 垣谷 美雨 祥伝社 2016 080/579

「結婚を考えている彼女ができたので、部屋を出て行ってくれ。」 派遣ギリに遭った日、32歳の水沢久美子は同棲相手から突然別れを切り出された。3年前、プロポーズを断ったのは自分だったのに。一度に仕事と彼氏と家を失った久美子は、偶然目にした「農業女子特集」というTV番組に釘付けになった。さっそく田舎に引越越し、農業大学校に入学、野菜作りのノウハウを習得した久美子を待ち受けたものは？ 希望に満ちた農村ライフが待っていると信じていたのだが…。農業とその環境を描いた作品。

★わたし、定時で帰ります。 朱野 帰子 新潮社 2018 080/578

絶対に残業しないと心に決めている会社員の結衣。時には批判されることもあるが、彼女には、どうしても残業したくない理由があった。仕事が最優先の元婚約者、風邪をひいても休まない同僚、すぐに辞めると言い出す新人。様々な社員に囲まれて働く結衣の前に、無茶な仕事を振って部下を潰すという噂のブラックな上司が現れて…。働き方改革と叫ばれながら、職場の人たちの価値観の違いを描いた作品。

★この世にたやすい仕事はない 津村 記久子 日本経済新聞社 2015 080/556

職業紹介所で「コラーゲンの抽出を見守るような仕事」を求めて勧められたのが、第1話の「みはりのしごと」、モニターを前にして、そこに映った人物をひたすら観察する。“私”の割り振られた対象者は、山本山江という小説家で、不法な何かを誰かに、DVDのケースに隠して託されているらしい。本人はそのことを知らず、大量のDVDのうちどれがそれを突き止めるために行動を監視せねばならない。仕事を続けるうちに…。隠しカメラを使った小説家の監視、巡回バスのニッチなアナウンス原稿づくりなど5本。『日本経済新聞』電子版の連作から。

★ご利用のご案内★

〈開館時間〉

平日：9：00～19：00 土・日・祝日：9：00～17：00

休館日：年末、年始、蔵書点検日

- * 図書・DVDを借りる時には、図書貸出カードが必要となります。住所・氏名が確認できるもの（健康保険証・運転免許証・学生証など）をお持ちください。
- * 貸出点数は図書5点まで、DVDは3点まで、併せて5点まで、貸出期間は2週間です。
- * 貸出の予約もできます。
- * 情報・資料探しのお手伝いは、お気軽にご相談ください。